



平成31年3月 第39号

ひまわり

編集・発行

茨城県児童館連絡協議会

東茨城郡大洗町磯浜町8249-4
茨城県立児童センターこどもの城内

電話 029-266-3044
FAX 029-266-3045

e-mail:kodomo@crux.ocn.ne.jp
http://www.kodomonosiro.jp/

「新しい時代における 児童館の役割」

茨城県保健福祉部
子ども政策局少子化対策課

課長 菅谷 誠一

やわらかな春の日差しが心地よいこの季節、まもなく元号も変わり、新しい時代の幕が開きます。子どもたちが安心して伸び伸び暮らせる明るい時代となりますよう期待するところです。

児童館は、従前より健全な遊びを提供し、その心身の健康を増進し情操を豊かにする役割を担ってきましたが、近年はさらに、放課後児童クラブや地域子育て支援拠点などと密接な連携を築くなど、多くの子育て家庭にとつて、なくてはならない存在となっております。

これからも地域における子ども・子育て支援に資する児童福祉施設として、子どもを取り巻く様々な課題に対応しながら、機能をより充実させていくことが大変重要であると考えております。

児童館の運営にたずさわる皆様にお

かれましては、次代を担う大切な子どもたちの健やかな成長のため、各児童館の特性を活かした取組にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



子どもたちの笑顔を

茨城県立児童センター こどもの城

所長 中山 香織

こどもの城は誰でも利用できる施設です。もちろん県外の方も。

宿泊学習やお泊まり保育などいろいろな団体の方々や、日帰りでの研修など活動の場として利用することができます。豊かな自然の中にある大型児童館です。

この頃は危ないから、汚れるからと、自由に遊ぶことができなくなっている

子どもたちがたくさんいるようです。自然の中で、おもいきり遊ぶこともたちの笑顔は、一番輝き、子どもらしいと感じます。遊びの中でルールを学び、思いやりも育つのではないのかと思います。

また、親子で遊べる時期はあつという間に過ぎてしまいます。親と一緒に遊んだという楽しい記憶は、いつまでも子どもの心に刻まれています。ぜひ親子で、ゆつくりと、たくさん遊びや活動をとおして絆を深めて欲しい。

みんなの居場所として、子どもたちの笑顔がもつともっと感じられる、そんな施設でありつづけられたらと願っています。



つくば市立荃崎児童センター
館長 中村 保

つくば市立荃崎児童センターは、つくば市南部の旧荃崎地区森の里団地の隣接地に位置し、平成十三年五月十日に開館しました。児童センターは、荃崎第三小学校に隣接しており、子どもたちの元気な声が毎日聞こえてきます。

現在、荃崎児童センターでは、午前中には乳幼児家庭教育学級や母親クラブ「うさちゃん・S」の親子が、様々な遊びや学習の場として利用しております。また、地域の乳幼児とその保護者も遊びにきており、プレイルームなどで楽しんでいます。午後になると小学生が大勢児童センターを訪れ、図書室で読書や宿題を行ったり、ドッジボールやバドミントン・縄跳びなどで学年の枠を超えて楽しく、賑やかな時間を過ごしています。



毎年秋に開催する「児童センターまつり」や季節ごとに行われるかき氷や花壇の手入れなどのイベントを開催するとともに、一輪車や竹馬・縄跳びの検定や、握力・反復横跳びなどの体力測定を毎月実施し、子どもたちの体力増進を図っていききたいと思えます。

五霞町立こか南児童館
館長 中島 秀吉

こか南児童館は平成二年五月に開館し、一日に三十人ほどが利用しています。小学生向けとして、ドッジボール大会やクッキング、季節の行事や昔遊びなどを月に三〜四回、避難訓練を月一回行い、学年や年齢の違う子どもたちが触れ合い元気に活動しています。

また、月二回、一歳児から未就園児とその親などを対象とした「にこにこ広場」という教室を行っており、今年度は十八組が参加利用しています。日々成長していく子どもたちから元気をもらっています。

この他、「子育て応援フェスタ」という町のイベントを、子育て支援組織等の協力をいただき、西児童館と連携して行っており、八回目となる今年度は十二月九日の日曜日に開催し、多くの親子や家族等大変にぎわいました。

今後も、身近な児童館として更にも多くの方に利用してもらえよう、楽しめる行事を計画したり、工夫を凝らしていききたいと考えております。



神栖市立若松児童館
館長 足立 アケミ

神栖市立若松児童館は平成二十二年四月、神栖市の七番目の児童館として開設しました。今年で九年目を迎え神栖の中では新しい施設です。

館内は、オープンスペースで顔の見える事務室は「先生との距離も近い」会話の絶えないアットホームな雰囲気も若松児童館ならではです。

また、神栖市の児童館の中で唯一バスケット専用コートがあるのも魅力の一つで、異年齢の子どもたちが集う「遊びの場」として地域に根付いています。

土日や長期の休みに入ると一日を児童館で過ごす子どもたちも多く、帰省されたご家族が祖父母と一緒に来館され遊ぶ場所としても年々増えてきています。特別イベントとして「ラッキーデー」を設け子どもたちの意見を取り入れた運動遊び・製作等を行い、いつもは遊ぶ機会が少なかったお友だちとの交流がもてるようになったり、一人でも来館しやすい児童館です。今後も安心して遊べるアットホームな居場所作りに努めてまいります。



児童館

石岡市立児童センター

館長 栗山 真樹子

石岡市立児童センターは昭和五十六年に設立され住宅地の中に位置し、公園と隣接しています。

午前中は、主にふれ合い遊びやリズム遊び、季節の製作、クッキングなどの幼児親子を対象とした教室や、フリースペースでの遊びを通じて親子が交流を図っています。また、育児の苦労を親同士で分かち合ったり、時には保育士の資格を持つ職員が育児についての相談にのるなど、子育て支援に主眼を置いた施設運営を行っています。

午後は、幼稚園生と小学生を対象とした教室を行っている他、子ども達が自由に遊びに来て卓球やトランプリン、オセロやトランプ遊びを楽しみながら、世代を超えた交流を目的とした事業を行っています。

そのような中、今年の利用者の声を取り入れ、県民の日に午前は幼児親子を対象にプラレール大会、午後は小中学生を対象に卓球大会を行いました。

プラレールは、みんなでレールを部屋いっぱいにつなげ、その後全ての電車を走らせました。あまりのスケールに子ども達から歓声があがっていました。

卓球大会は、普段から利用している子ども達が大勢集まり、皆が真剣に試合をしました。特に高学年や中学生は白熱した試合を見せてくれ、大盛況でした。今後利用者の方々の意見を取り入れ、楽しい事業を企画し、開催したいと考えています。



紹介

神栖市立大野原児童館

館長 菊地 麻紀

大野原児童館は児童厚生施設と児童発達支援事業所の機能を合わせ持つ複合施設です。

四月に新館がオープンし、市内の児童館としては初めて導入したボルダリング壁を設置。「いつでも家族で楽しみながら体力づくりができる」とはもとより、幅広い年齢層の子ども達が交流できる遊び場となっております。初めての来館者や「友達に教えてもらいました」と市外・県外からの来館者も増えていきます。また、子育て支援事業も始まり、来館者がスタッフにも気軽に声をかけてくれたり、子どもの話をしながら、お母さん同士のコミュニケーションも増えてきました。月一回の行事を行うことで異年齢・同年齢の関わりも増えていくように感じています。今は旧館の解体工事が進む中、新しい遊具で遊べることを楽しみにしています。

今まで以上に子ども達の笑顔が見られ、にぎやかな声が聞こえてきそうです。

昔ながらの懐かしい行事を大切に、いつでも気軽に「よみち」できる児童館を目指していきたいと思えます。



つくば市立手代木南児童館

館長 沖田 稔

つくば市立手代木南児童館は、昭和五十五年に開館した歴史と伝統のある児童館であります。周辺は、住宅都市整備公団が開発した地域で、集合住宅の中に、保育所・幼稚園・小中学校・地域交流センター・交番やショッピングセンター等があり、近くには公園がある自然環境に恵まれた場所にあります。

ここに、来館される児童は、みんな明るく素直な児童です。毎日、元気いっぱい笑顔いっぱい、晴れた日は隣接する広場で四季折々の景色を楽しみながら、鬼ごっこやなわとびをしたり、なかよく遊んだり学んだり、友だちづくりをしています。

また、毎月恒例の囲碁教室や先生と遊ぼう会では季節ごとの遊びを楽しみます。行事としては、ボランティアによるクリスマスコンサートや、秋には母親クラブや児童クラブ父母会やおやじの会など、地域の皆様のご協力を得ながら、児童館祭りを実施しております。毎年多くの参加者の方から喜ばれています。

これからも、地域の方々にもご協力を頂きながら、地域とともに育ち、歩む児童館を目指していきます。



息子を成長させてくれた場所

東海村総合福祉センター「絆」内 児童センター

利用者 西岡 麻理子

上の息子が二歳四か月の頃、東海村に引っ越してきて児童センターに通うようになりました。それまで人見知りの強かった息子が遊ぶところといえば、誰もいない公園ばかりでしたが、ペットボトルで作られた手押し車の電車や大きな滑り台、たくさんのおもちゃや広いお砂場はとても魅力的で、すぐに児童センターは息子の大好きな場所になりました。

遊んでいるそばにお友達が近づいてくると逃げていた息子が、他の子どもたちと触れ合ううちに段々と逃げなくなり、少しずつ一緒に遊ぶようになった姿を見て、その成長を嬉しく思いました。

今では下の息子もお世話になっており、私たち親子はすっかり児童センターの「常連さん」になりました。毎日何をして過ごそうかと悩み、

行き詰っていた育児から解放され、育児を楽しむゆとりを持たせて頂いた児童センターには感謝の気持ちで一杯です。これからも子どもたちの触れ合いの場であり続けてほしいと思います。



木の実がつながる遊びの輪

常総市立三坂児童館

児童厚生員 岡田 緑

常総市立三坂児童館では昨春秋、木の实のお店屋さんごっこ「どんぐりマーケット」を行いました。この遊びのプログラムは、児童健全育成推進財団主催の「遊びのマルシェ」で教えていただいた、神戸の六甲道児童館の実践にならい行つたものです。

どんぐり等の木の实がお金代わり。珍しいものほど金額が高くなります。お店の商品は小学生と一緒に作つたおもちゃや、ご家庭から提供していただいた小物等です。子どもたちはたくさんどんぐりを拾い、嬉しそうに児童館にお買物に来てくれました。また子どもも出店日には子どもたちの楽しいお店が並び、にぎやかなマーケットになりました。

豊かな自然に目を向ける事、お金には限りがある事、お客さんを思いながら商品を作る事、たくさん学びがある「どんぐりマーケット」によって、これからも更に遊びの輪が広がることを願っています。



楽しかったヨット体験

イベント参加者(こどもの城)

千葉県柏市 小学三年 谷山 日菜子

はじめにクラブハウスで説明を聞いた後にヨットハーバーに向かいました。ヨットは思ったより大きかったです。三台位しかないと思っていたので、いっぱい船があつてびっくりしました。

次に伊藤先生が作つた、大型ヨットに乗ってマリナーを出発しました。ヨットに乗る時に、海に落ちそうで少しこわかったです。船のはじっこは、意外に高かったです。船の地下には部屋があつてベットやキッチンがありました。ここで泊まれると聞いて、びっくりしました。船が動き出すと波が船にぶつかって、ふわつとなるのが面白かったけど、すぐになれました。ヨットはゆれながら水面をスイスイ進んで、乗り心地がなめらかで楽しかったです。

沖に出てからは、全員が交代でヨットのそうじゅうをしました。さいしょはハンドルを右に動かせばいいか左に動かせばいいか、わからなくてはずかしかったけど、さい後はうまくできました。

いつかせん水かんにも乗ってみたいですね。



学童をより良いものにする為

銚田市つばさ児童クラブ
放課後児童支援員 石崎 由佳

今年度は、四回開催されたスキルアップ研修に私は、学童をより良いものにするためと、研修内容がとても楽しそうなので全部に参加することが出来ました。

スキルアップということ、子どもに関わる知識や長年子どもと関わってきたから生まれた先生の進め方が、私にとって新しい考え方として捉えることができました。また、講義内容はそれぞれ違いますが、共通して感じたことは、「コミュニケーション」の大切



さです。一緒に参加した方と話し合ったり、遊びのワークで楽しんだりしながら身近な物で奏でる即興演奏会をしました。参加した全員の方が「楽しい」という感覚をもったと思います。初めての人同



士でも楽しめたのは、先生が「安心して自分を出していいんだよ」という空間を作ってくさり、参加者も楽しもうと行動したからできたのだと思います。この経験で、楽しむための努力【積極的な関わり】と、スキル【良い人間関係への道のり】というものを学ぶことができました。学童でも子どもたちに、人と関わる楽しさを伝えていきたいです。

良い空間は、安心・安全で良い関わり合いができていくこと。それは、人として良い人間関係を築くことです。今働いている学童状況を把握して、良い方向へ望ましい姿に向かって行くよう支援員に働きかけていきたいと考えました。このような考え方が出来たのも講義をして下さった先生と、一緒に学んだ参加者の皆さん、そして研修の場を与えて下さった主催者の方々のおかげです。有意義な研修会をありがとうございました。



「音」っておもしろい!

東海村総合福祉センター「絆」内児童センター
館長 鹿志村 洋子

一月二十日(日)つくば市民ホールやたべにおいて「音」のおもしろさを、楽しく学ぶことができました。

私達の身の回りには、簡単に「音」を楽しめる環楽器がたくさんあり、難しい技術がなくても演奏でき、初めて会う人と色々な音を奏でることは、とてもおもしろい体験でした。

竹の長さや太さたき方、また、石のたたき方や手のひらを開いたり握ったりするだけで音が違う、音つておもしろい、楽しいと感じました。

最後に、家から持参した、湯呑み茶わん、マグカップ、空き缶、ペットボトル等を使い高橋先生に一人ひとり音だしを教わり演奏できたことに感動しました。

竹や石等準備し、企画して頂いた子ども達の職員の皆様ありがとうございました。





職員研修会で得たもの みんなで育む 子どもたちの未来



土浦市立新治児童館

館長 前原 令子

北守谷児童センター(キ・タール)

館長 山宮 文昭

美浦村立木原城山児童館

館長 高橋 由美子

親の虐待で命を落とすという辛い事件が毎日のようにテレビから流れてきます。

そんな中で、私たち児童館

職員が出来ること、役割を、坪井先生の地域福祉活動の講義で学ばせて頂きました。子どもたちの受動的権利(生きる権利・育つ権利・守られる権利)と能動的権利(参加する権利)を「当たり前のこと」として保護者に理解してもらう事の大切さを学びました。

そして地域住民・専門家と共に、子育て親育ちの支援をしながら保護者と児童の一番近くにいる私たちが積極的に行動していかねければと思います。

宮崎先生の安全指導・安全管理の講義では、里山の子ども達のいきいきとした姿を見せて頂き、理想的でとても羨ましく思いお話を引き込まれました。しかし現状では、様々な規制があり、同じように行うことは、とても厳しく残念に思いました。

毎回とても有意義な研修を有難うございます。講師の方への依頼、会場準備等、事務局の皆様には感謝しております。これからも宜しくお願ひします。

つくば市民研修センターでの児童館等職員研修会に参加しました。午前中は、石田隆雄先生より「配慮を要する児童の対応」のご講義をいただきました。

二人組になり児童と先生役になって、いろいろな場面でのやり取りをした後に先生からの具体的なアドバイスをいただきました。発達障害の子の情報



処理の特異性を理解し、必要に応じ視覚的補助教材を使用する等、相手に伝わる話し方の工夫の大切さを改めて学びました。午後からは、北島尚志先生より「表現活動」のご講義をいただきました。



実技が主でしたが表現活動の中、失敗も答えもない。身近な物・場所こそおもしろい、とのお話で児童館は安心して過ごせる場の提供も大切な役割なので、人材や事業等、現在のニーズも取り入れつつ取り組んでいきたいと感じました。楽しい研修をありがとうございました。

「遊びは、子ども達だけのものではない。」そんな言葉がぴったりの研修会が、かすみがうら市千代田公民館で開催され、参加して参りました。

この日の講師は「あそび・うた・ひなたぼっこ」代表の三根政信先生。ギター片手に繰り出す楽しい歌の数々、私も含め参加者の皆さんは、すぐに童心に戻りました。そして、講義の後半は人間知恵の輪や新聞紙ホッケー等の集団遊びを行い、大きな歓声と笑顔いっぱいとなりました。



何故こんなに楽しいのでしょうか。三根先生の講義には、大きな仕掛けがありました。それは、人と人を繋ぎそこに新しいものを創りだす場を持たせることです。初対面の人でも、こういった活動を通して繋がっていくと、日常の悩みも消え気分も晴れやかになります。これを見事に置き換えてみると、まさに児童館ガイドラインという「遊びによる子どもの育成」です。遊びの伝道師である三根先生からの教えをそれぞれの児童館での笑顔へと繋げていきたいと思ひます。



子どもの最善の利益を

一般財団法人 児童健全育成推進財団
理事長 鈴木 一光

昨年、東京都目黒区で船戸結愛ちゃんが虐待され死亡したニュースに接した時は、五歳児が書かされた痛々しい反省文と相まって、胸をかき爪られるような想いかられました。

「児童虐待の防止等に関する法律」は、平成二十九年までに六回改正されています。それも受けて児童福祉法も改正されました。さらに、子どもの貧困や引きこもりなどにも何とかコミットしなければといった関係者の思いが、児童館ガイドラインの改正につながりました。

「子どもの最善の利益が優先して考慮される」とガイドラインに謳いましたが、私たちヒトは、生まれた社会に適応できるような愛情と学習機会をたっぷり与えられないと人になれません。それを与えるのはまず両親であり、激変する現代社会の中で、その親と共に地域社会での子育てを支援し伝承していくのが児童館の役割です。その心魂をもって、改正児童館ガイドラインを理解賜り、児童館運営に具体化されることを切に願っております。

児童館でのあれこれ

つくば市立谷田部児童館
館長 矢口 一幸

日頃より県児連の多様な研修に参加できる機会を得て、感謝しております。

私の児童館では、子ども達が手作りの行事やスポーツ体験に無邪気な好奇心を示したり、努力する姿に心動かされる場面があるかと思うと、きょうは仲良しの友達がいないから遊べないとか、ささいな事にこだわったり駄々をこねて泣き止まないなど、なかなか集団生活に馴染めない事例もあります。また、低学年と遊んで勉強を教えてあげるなど優しい子の姿に心が温まる一方で、マセた話を低学年に聞かせて面白かったり、指導員をからかったりと対応に困る場面もあります。

子どもたちも必死になって日々を送っているものの、学校や家庭内など彼らを取り巻く環境が複雑になつてきて、自己表現に戸惑っているのかもしれない。

児童館では、そんな彼らを受け止め、安らげる場を提供することが今求められているのかなと感じています。彼らに寄り添い、悩み事を聞いてあげられるような関係を構築できれば幸いです。



資格認定者

平成三十年度
児童厚生二級指導員
資格認定者

(敬称略)

つくば市立桜南児童館

須藤 昌代

つくば市立二の宮児童館

松本 綾子

つくば市立東児童館

相澤 敏江

神栖市立大野原児童館

保立 春子

神栖市立深芝小児童クラブ

濱垣 チエ子

神栖市立息栖小児童クラブ

境 孝子

東海村総合福祉センター「絆」内児童センター

近藤 奏美

東海村中丸児童クラブ

鈴木 智子

げんきっこ学童保育(栃木県)

黒子 茂子

茨城県立児童センター こどもの城

鈴木 宏樹

永年勤続者表彰

永年勤続表彰制度は、茨城県児童館連絡協議会に加盟する児童館において十年以上児童館職員として活動し、顕著な功績のあった方を表彰する制度です。

平成三十年度は次の九名の方が表彰されることになりました。

(敬称略)

つくば市立竹園東児童館

小田部 公一

つくば市立栄児童館

八巻 育子

つくば市立九重児童館

坂本 佳子

つくば市立手代木南児童館

鬼澤 のり子

つくば市立松代児童館

中込 照子

つくば市立上郷児童館

山下 恵子

つくば市立東児童館

高橋 よし子

神栖市立波崎西児童館

池尻 一枝

神栖市女性・子どもセンター

宮崎 亜衣

平成 30 年度 茨城県児童館連絡協議会 事業報告

実施年月日	事業名	場 所	概 要
30.5.11	通常総会	県立児童センター こどもの城	・児童健全育成活動功労者永年表彰 ・平成29年度事業報告及び決算報告について ・平成30年度事業計画、収支予算(案)について
	館長研修会	〃	・講義 「子どもと親に対する接し方」 ・講師 つくば国際短期大学 元教授 浅野 房雄 先生
30.5.11	第1回役員会	〃	・平成30年度 事業計画について
			・平成30年度 児童館連絡協議会全国会議への意見書について
			・平成30年度 第1回児童館等職員研修会について
30.5.17	全国児童館連絡協議会 都道府県児童館連絡協議会 会議	御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター	・会長, 事務員出席
30.5.18	全国児童館連絡協議会 会員総会	〃	・会長, 事務員出席
30.6.20	第1回児童館等職員 研修会 (138名参加)	つくば市 市民研修センター	・講義 「配慮を要する児童の対応」
			・講師 茨城キリスト教大学 文学部 元教授 石田 隆雄 先生
			・実技 「表現活動」 ・講師 アフタフ・パーバン 理事長 北島 尚志 先生
30.6.20	第2回役員会	〃	・平成30年度 全国児童館連絡協議会 会議について
			・平成30年度 児童厚生員等研修計画書について
			・平成30年度 共同募金助成金について
30.9.7	第2回児童館等職員 研修会 (74名参加)	ひたちなか市 文化会館	・講義 「健全育成論」
			・講師 リリー保育こども&スポーツ専門学校 講師 川崎 三津子 先生
			・講義 「児童館論」
			・講師 関東短期大学 講師 村田 初女 先生
30.9.7	第3回役員会	〃	・平成30年度 第1回研修会 アンケート集計について
			・平成30年度 スキルアップ研修会(案)について
30.11.20	第3回児童館等職員 研修会 (99名参加)	かすみがうら市 千代田公民館	・実技 「ゲーム・運動遊び」
			・講師 あそび・うた ひなたほっこ 代表 三根 政信 先生
			・講義 「児童の発達理論」 ・講師 聖学院大学心理福祉学部 講師 坂本 佳代子 先生
30.11.20	第4回役員会	〃	・平成30年度 第2回研修会 アンケート集計について
			・機関誌「ひまわり」について
			・スキルアップ研修会(案)について
30.12.12	第4回児童館等職員 研修会 (82名参加)	小美玉市 四季文化館 (みの〜れ)	・講義 「地域福祉活動」
			・講師 作新学院大学短期大学部 幼児教育科 教授 坪井 真 先生
			・講義 「安全指導・安全管理」 ・講師 木更津社会館保育園 園長 宮崎 栄樹 先生
31.1.16	スキルアップ研修会 (水戸45名参加)	茨城県 総合福祉会館	・講義 「今を生きる子どもたち～私たちができること」 ・講師 仙台市七郷児童館 主任 今野 明美 先生
31.1.20	スキルアップ研修会 (つくば37名参加)	つくば 市民ホールやたべ	・講義 「音」っておもしろい! ・講師 あそびうた研究会 高橋 昌樹 先生
31.1.20	第5回役員会	〃	・平成30年度 児童健全育成顕彰事業 被表彰者について
			・平成31年度 総会・館長研修会について
			・平成31年度 役員・運営体制について
31.1.31	スキルアップ研修会 (行方28名参加)	茨城県立 白浜少年自然の家	・実技 学童期の発達を踏まえて～あそび合うかわりを作るワークショップ ・講師 アフタフ・パーバン 理事長 北島 尚志 先生
31.2.8	スキルアップ研修会 (神栖54名参加)	神栖市平泉 コミュニティセンター	・講義 「現場で使える支援について考える」 ・講師 日本カウンセリング学会 認定カウンセラー 武藤 幸枝 先生
31.3.15	機関誌発行		・機関誌「ひまわり39号」 500部発行

☆平成 30 年度役員☆

- ・会 長 中山 香織 (県立児童センターこどもの城)
- ・副 会 長 矢口 一幸 (つくば市立谷田部児童館)
- ・書 記 山宮 文昭 (守谷市北守谷児童センター)
- ・研修委員 高橋 由美子 (美浦村立木原城山児童館)
- ・研修委員 前原 令子 (土浦市立新治児童館)
- ・会計監事 鹿志村 洋子 (東海村総合福祉センター「絆」内 児童センター)
- 〈事務局〉
- ・事務局長 鈴木 宏樹 (県立児童センターこどもの城)
- ・事 務 員 綿引 初江 (県立児童センターこどもの城)